

最高のフィールドを生かして 青森で生きる

「うせ農業をやるなら、飛びぬけたことをやりたい！地域の将来を見据えた新しい農業の形を目指したい」。そんな夢を抱き、2004年、有限

会社白神アグリサービスを設立しました。鱒ヶ沢町にある70ヘクタールの農場では、米、りんご、大豆、毛豆、ブルーベリー、さくらんぼなどの作物を栽培してい



【インタビュー】有限会社白神アグリサービス

取締役 木村 才樹さん
(鱒ヶ沢町)

【インタビュー】有限会社白神アグリサービス

代表取締役 木村 農也さん
(鱒ヶ沢町)

ます。長男である私・才樹と、四男の農也、それに、新卒を含めた7人の社員と力を合わせながら農産物の加工や農作業の受託のほか、りんご剪定枝などを利用したバイオマスエネルギー事業、グリーン・ツーリズムなど、地域資源を活用したさまざまな事業に取り組んでいます。

また、農也が、県の農業先進国視察事業や、若手農業トップランナー塾に参加したことで広がった、同じ志を持つ県内の若手農家や県内外のネットワークを生かして、誰にもまねできない新たな挑戦を続けていきたいと思っています。

首都圏の学生と農業を通して互いの課題解決

企業や学生グループなどの団体に田んぼのオーナーになってもらう

「みんなの田畑みんなたば」にも取り組んでいます。大学生版「みんなたば」では、現在、東京大学、日本女子大学、法政大学、弘前大学の学生が定期的に来ています。学生たちは、農業に癒やしと人生の活路を求め、こちらにとっては、学生たちが労働力となりお客さんとなり、さらには営業マンにもなる。そして、実際に農業体験をするからこそ、農業の素晴らしさと価値を正しく理解して、うちのお米などを市場価格よりも高い価格で買ってくれます。このように農業を通して、お互いの課題解決につながっていると思います。

「ここを訪れた学生はみんな、「空が広い」といいます。そして、自然、ここに生活している人たちが、暮らしそのものが好きだと言ってくれます。学生の中には、大学卒業後も家族を連れて遊びに来たり、中には東京から青森に移住して就職した子もいます。」



みんなたばでの農作業

岩木山の見える地で引き継いでいく

20年以上前から地元の小学校にりんご園を提供し、子どもたちにりんご園を作ることから、市場に出荷するまでを授業の一つとして教えてきました。このことを通して、子どもたちには、青森の農業で「生きる力」を身に付けてほしいと考えています。

白 神山地をはじめ、海・山・里・川、全てに恵まれていてこの辺りは、縄文遺跡がたくさん発掘されています。

つまり、私たちが暮らしている、鱒ヶ沢町建石地域は、その時代から人々が安心して暮らすことができる場所ってことなんだと思うんです。そして、なんと言ってもここ建石から見る岩木山が一番きれいな。この一番きれいな岩木山が見える、この最高のフィールドを子どもたちに残していきたいですね。

農山漁村の持続的・自立的発展に一緒に取り組みましょう。

県では、農山漁村において、地域資源を生かして、地域全体で付加価値を創出し、雇用を生み出していく「農山漁村の『地域経営』」を推進しています。

この取組では、地域の農林水産業の担い手となる「生産者」や「法人」、「集落営農組織」などを中心に、農地や農山漁村環境の維持、地域資源の活用、加工・食品産業等との連携、女性・高齢者の活躍の場づくりなどを進めています。

このことにより、農山漁村の6次産業化などを図るとともに、雇用の確保・拡大、若者の定着促進、教育、福祉など地域コミュニティ機能維持へも貢献していくことを目指しています。

『地域経営』では、地域自らが主体的に、地域の将来のあるべき姿を見据えて行動することが大切です。このため県では、「地域の担い手は地域が育てる」取組を支援しています。

さらに、意欲的な若手農業者を対象に経理やマーケティング力を高める「若手農業トップランナー塾」を開講し、自立した地域農業の実現と、それを将来世代へと引き継いでいく力強い人材を育成しています。

詳しくは、県庁HP「地域経営」Q検索

円構造政策課

電話 017-734-9463

